

梵天丸のプログラムから実行まで

1 エディット

(方法1)

梵天丸のプログラムを書く画面を起動する。
「ファイルを開く」をクリックして、呼び出すファイルを指定する。
「へんしゅう」をクリックし、プログラムを書く。
「しまう」または「なまえをかえる」をクリックしてプログラムを保存する。(拡張子が「b.10」になる。)

(方法2)

文書処理ソフトを起動する。
プログラムを書き、拡張子を「b.10」にして保存する。

(その3)

アセンブリ言語でプログラムを書く。
保存する。(*.src)

2 .コンパイル

梵天丸のプログラムを書く画面を起動する。
「ファイルを開く」をクリックして、作成したファイルを読み出す。

- * 「ファイルの種類」が、「まきもの」なのか、「アセンブリ言語」なのか指定する。
「ほんやく」をクリックし、機械語に変換する。
- * テキスト アセンブリ言語 機械語

3 .リンク

梵天丸にROMライタを接続する。
梵天丸のスイッチをONにする。
プログラム画面の「書き込み」をクリックする。
* プログラムが梵天丸のROMに書き込まれ、LEDが点滅する。
梵天丸のスイッチをOFFにし、コードをはずす。

4 .実行

梵天丸のスイッチをONにする。
プログラムが実行される。